

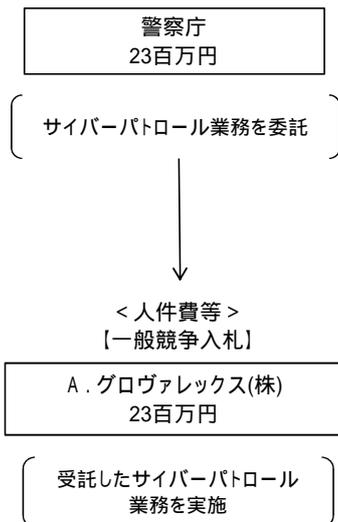
平成25年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	サイバーパトロール業務	担当部局庁	生活安全局	作成責任者					
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度～	担当課室	情報技術犯罪対策課	情報技術犯罪対策課長 緒方 禎己					
会計区分	一般会計	政策・施策名	安心できるIT社会の実現 1 情報セキュリティの確保とネットワーク利用犯罪等サイバー犯罪の抑止						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-	関係する計画、 通知等	-						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	サイバー空間における国民の安心を確保するため、インターネット上の違法情報・有害情報に対する対策を効果的かつ効率的に推進し、サイバー空間の浄化に資する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	サイバーパトロール業務とは、一般のインターネット利用者からの通報が期待できないインターネット上の特定の違法情報等の検索収集、違法情報等のインターネット・ホットラインセンターへの通報、及び書き込み内容から18歳未満と判断される出会い系サイト利用者に対する警告メールの発信等の業務をいう。平成24年度は、業務の効率化を図るため、インターネット上のWebページのリンクをたどりながら情報を収集するクロラシステムを導入し、補助プログラムの開発も委託している。								
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他		
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	39	34	36	25	22		
		補正予算	0	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0	0			
	計		39	34	36	25	22		
	執行額		24	21	23				
執行率(%)		62%	62%	64%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果目標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	(成果目標) ネットワークを利用した犯罪被害の抑止 (参考指標) サイバーパトロールが通報した違法・有害情報件数(暦年)			成果実績	件	8,807	13,364	14,115	
				達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	巡回したサイト投稿数(暦年)			活動実績 (当初見込み)		796,989	815,968	718,672	
						(-)	(-)	(-)	
単位当たりコスト	(31円/件)			算出根拠	平成24年度契約額22,596,000円 / 巡回件数718,672件				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	人件費等	25	22						
	計	25	22						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			都道府県境を超えるインターネット上において一般ユーザーからの通報が期待しにくい会員制サイト等の違法情報・有害情報に対する対策を効果的かつ効率的に推進し、サイバー空間の浄化に資することにより、サイバー空間における国民の安心を確保することができる。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			必要な事業項目に絞って一般競争入札により支出先を選定している。24年度からクローラを導入するなど効率化を図っており、単位あたりのコストは年々下がるとともに、成果実績は伸びている。なお、24年度にあつては、クローラの補助システム開発も委託したため通報件数に対しての、単位当たりのコストは一時的に上がっている。ただし、当コストは平成24年度に限定されたものであり、平成25年度以降は単位当たりのコストは下がることが期待される。		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	単位当たりコストの水準は妥当か。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					
事業の有効性	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			出会い系サイト・登録制サイト内等の違法情報等を監視・情報収集し、インターネット・ホットラインセンターに通報することにより、違法情報の取締りや削除措置等に役立っている。また、出会い系サイトについては、18歳未満の児童による書き込みと判断されるものについて当該利用者に対し「警告メール」を送信し、犯罪被害の防止に努めている。		
	不要率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					
重複排除	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 警察庁が直接外部委託しており、一月に一回検査を行い、執行状況等を確認している。					
	2 見直しの余地 本事業は、違法・有害情報の監視・情報収集に有効であり、引き続き実施する必要がある。また、現在一般競争入札を行っており、引き続き競争性の高い調達の実施に努める。					
外部有識者の所見						
外部有識者の点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	平成26年度の概算要求に当たっては契約実績を踏まえた積算を行い、要求金額の見直しに努めること。					
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
縮減	平成26年度予算の概算要求に当たり、契約実績を基に積算を見直し、要求額を縮減した。(縮減額:3百万円)					
	備考					
特になし。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	当初2-6	平成23年	43	平成24年	30

平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.グローヴァレックス(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費等	違法情報等の検索収集・通報等	23			
計		23	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	グローヴァレックス(株)	サイバーパトロール業務	23	3	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

サイバーパトロール業務の外部委託

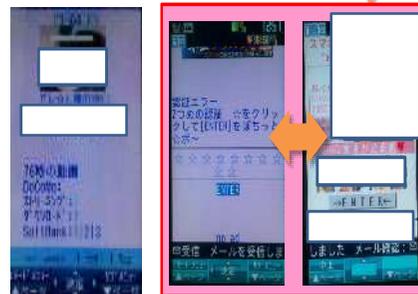
【複雑な認証が必要な例】



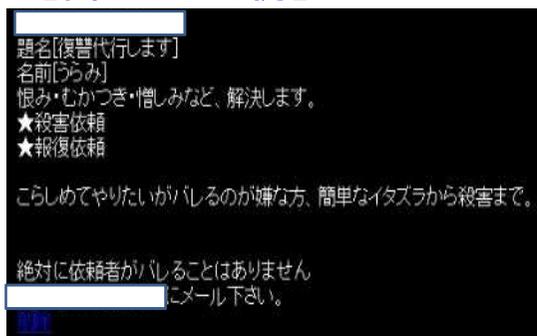
通報されたの記事を見るためには、の指示に従ってリンクマークと18禁動画を順にクリックして、リンク先の中から対象項目を探し出してクリックするという作業を(このケースの場合)合計18回行う必要がある。途中で1回でもクリックミスするとの始めからやり直しとなる。

また、途中でミスをしていたとしても、最後のの「認証」を押すまでそれが分からない。たとえ一度も認証に失敗しなかったとしても約30分かかる。

次にの「」を左から順にクリックして、リンク先のサイトを表示させ、またに戻って次のをクリックしてリンク先サイトを表示するという作業をの数だけ行うことで、動画再生ページにたどり着く。



【闇サイトの例】



委託業務の内容

- 1 対象とする情報
 出会い系サイト内の禁止誘引行為
 登録制サイト内の児童ポルノ情報
 悪質かつ緊急に対処すべき情報 等
- 2 ホットラインセンターへの通報
- 3 出会い系サイト利用の児童に対する警告メールの送信

【業務体制】

専従10名体制
 (内訳)
 管理者 1名
 オペレータ 8名
 連絡・統計 1名

internet

違法情報等の収集

クローラ

サイバーパトロール業務
 受託者



警告メール
 送信

出会い系サイト
 利用の児童

通報



インターネット・
 ホットラインセンター

一般からの通
 報が
 期待できない
 情報を対象

サイバーパトロール業務の運用状況(H24)

